第1回病害虫発生状況調査(速報)

6 月 15 日に美方郡内の調査圃場にて、病害虫発生状況調査を行ないましたので、調査結果をお知らせします。

［ 病 害 ］

美方郡内の調査圃場において病害の発生は見られませんでした。梅雨明けまでは、いもち病の発生に注意が必要です。いもち病の感染好適条件の出現状況を BLASTAM として提供しているので参考にしてください。

URL： (http://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/blastam)

［ 虫 害 ］

イネミズゾウムシやイネドロオイムシ、イネアオムシ等の食害の発生が一部の圃場で数匹程度確認されましたが、防除が必要な状態ではありませんでした。

［ 獣 害 ］

調査圃場において獣害は確認されませんでした。しかし、電柵の設置のない一部の近隣圃場においてシカの被害を確認しました。今一度、電気柵の管理（電気柵の高さ確保・下草の除草・電圧のチェック等）を徹底し、被害の発生と拡大を未然に防止しましょう。

◆水管理について

移植後、気温の高低差が大きいものの生育は概ね順調です。
1 株当たりの分けつ数が既に 15～17 本になっている圃場もみられたので、よくご確認の上、中干しを始めましょう。